

知事から各部長への指示事項

新型コロナウイルスの「県の対応の目安」については、今日の段階では、「注意」ステージを維持することとしましたが、全国的な状況や本県の最近の状況を考えると、近日中にステージの引き上げを判断しなければならない可能性は、かなり高いと考えなければなりません。

したがって、来たるべき第8波に対応する体制の整備に、具体的に着手していただくようお願いします。

<第8波へ対応する医療提供体制の強化>

- 1つ目として、陽性者オンライン診療センターを早期に立ち上げられるよう準備を進めること。
- 2つ目として、発熱外来の拡充や診療時間の拡大など、医療機関の発熱外来の体制整備を促すこと。
- 3つ目として、入院治療体制の確保を図るため、医療機関に協力いただきながら即応病床の拡大に努めること。
- こうした形で、第8波の感染拡大に医療面で備えていただくよう、お願いします。

<高齢者施設などのクラスターへの備え>

- 高齢者施設や高齢者が多く入所している医療施設などにおいては、重症化リスクを抱える方々が多いこともあり、第7波までの経験を踏まえても、クラスター対策に先手を打つことが肝要です。
- したがって、高齢者施設等の従事者に対して、頻回検査という形で、集中的な検査を全県的に行っていくこと。
- 高齢者施設などと医療機関との連携体制をあらかじめ確保しておくこと。

- 連携する医療機関がまだ決まっていない高齢者施設については、月内には橋渡しをして、医療機関が高齢者施設をサポートしていく体制を確立をするよう取り組んでください。
- さらに、高齢者施設に専門家を派遣をして指導することについても、早め早めに講じていくことをお願いします。

<県の「対応の目安」見直しに伴う、各部局の対応について>

- 今回、国の分科会が具体的に出したガイドラインに応じて、「県の対応の目安」の判断基準や対応方針の見直しを行うこととしました。
- 特に、今回の見直しにおいては、「対策強化（紫）」ステージにおいて「対策強化宣言」、さらに状況が悪化した場合の「医療非常事態宣言」を行う枠組みを提示していますので、こうした事態を想定して、例えば各部局が行っている「旅行支援」や「高知家応援キャンペーン」、「地産地消キャンペーン」、「学校での活動」での局面において、「対策強化（紫）」ステージに至った場合に、具体的にどういった対応をとるのかを、あらかじめ検討し、論点を整理するようお願いいたします。